



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月8日

上場会社名 秩父鉄道株式会社 上場取引所 東
コード番号 9012 URL <https://www.chichibu-railway.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牧野 英伸
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 佐藤 伸 TEL 048-523-3311
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	3,808	6.5	140	—	146	—	333	—
2023年3月期第3四半期	3,574	7.5	△194	—	△144	—	△318	—

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 123百万円 (—%) 2023年3月期第3四半期 △309百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	224.54	—
2023年3月期第3四半期	△214.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	16,539	5,153	31.1	3,461.93
2023年3月期	16,954	5,030	29.6	3,378.74

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 5,142百万円 2023年3月期 5,019百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,900	4.5	△120	—	△140	—	△100	—	△67.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）－、除外 1社（社名）秩父観光興業株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	1,500,000株	2023年3月期	1,500,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	14,487株	2023年3月期	14,487株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	1,485,513株	2023年3月期3Q	1,485,517株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結範囲の変更)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
3. その他.....	11
(重要事象等について)	11
4. 補足情報.....	11
(参考) 鉄道事業旅客人員と旅客収入及び貨物トン数と貨物収入.....	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におきましては、5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類へ移行し、社会経済活動の正常化が進む中、沿線においても、一定程度の人流回復が見られました。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、営業収益は3,808百万円（前年同期比6.5%増）、営業利益は140百万円（前年同期は194百万円の営業損失）、経常利益は146百万円（前年同期は144百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は333百万円（前年同期は318百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりです。

[鉄道事業]

旅客部門におきましては、沿線における祭事の通常開催や通勤定期需要の回復が見られました。また、夜行貸切列車の運行や鉄道の魅力を生かした新たな体験型イベントを開催したほか、埼玉県を舞台とした映画とコラボレーションした記念乗車券の発売など、積極的な旅客誘致に取り組み、旅客人員及び収入は前年同期に比べ増加いたしました。

貨物部門では、輸送量が増加したことにより、貨物収入は前年同期に比べ増加いたしました。

営業費用は、減価償却費、電力費などが減少いたしました。

この結果、営業収益は2,518百万円（前年同期比6.4%増）、営業利益は15百万円（前年同期は233百万円の営業損失）となりました。

[不動産事業]

不動産事業におきましては、駐車場の稼働率が向上するなど、賃貸収入は前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、営業収益は283百万円（前年同期比7.0%増）、営業利益は148百万円（同23.0%増）となりました。

[観光事業]

観光事業におきましては、長瀬ラインくんだり荒川の水位低下による影響を受けたものの、宝登山ロープウェイの運輸収入が前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、営業収益は328百万円（前年同期比4.0%増）、営業利益は6百万円（前年同期は13百万円の営業損失）となりました。

[卸売・小売業]

卸売・小売業におきましては、コンビニエンスストアなどの売上が前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、営業収益は466百万円（前年同期比10.9%増）、営業利益は21百万円（同6.9%増）となりました。

[その他事業]

バス事業におきましては、貸切バス需要に回復がみられました。一方、建設・電気工事業におきましては、工事の受託が減少いたしました。

この結果、営業収益は490百万円（前年同期比8.3%増）、営業損失は54百万円（前年同期は92百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における財政状態について、総資産は、前連結会計年度末に比べ414百万円減少し16,539百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末に比べ272百万円増加し1,854百万円、固定資産は687百万円減少し14,685百万円となりました。流動資産増加の主な要因は、現金及び預金が増加したことによるものです。固定資産減少の主な要因は、投資有価証券の売却及び固定資産の減損損失によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ538百万円減少し11,385百万円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ372百万円減少し3,389百万円、固定負債は165百万円減少し7,996百万円となりました。流動負債減少の主な要因は、その他に含まれる設備未払金及び資産撤去引当金がそれぞれ減少したことによるものです。固定負債減少の主な要因は、長期借入金の減少等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ123百万円増加し5,153百万円となりました。純資産増加の主な要因は、投資有価証券の売却によりその他有価証券評価差額金が減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）につきましては、2023年11月9日の「2024年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	810,758	1,016,848
受取手形、売掛金及び契約資産	298,190	426,798
分譲土地建物	94,513	94,134
商品及び製品	35,010	34,967
原材料及び貯蔵品	162,658	157,081
その他	184,954	129,279
貸倒引当金	△3,853	△4,516
流動資産合計	1,582,231	1,854,593
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,329,502	13,082,110
減価償却累計額	△10,123,880	△10,175,652
建物及び構築物 (純額)	3,205,622	2,906,458
機械装置及び運搬具	5,071,403	4,286,936
減価償却累計額	△4,611,432	△3,878,024
機械装置及び運搬具 (純額)	459,970	408,911
土地	11,022,199	11,019,301
その他	988,231	999,968
減価償却累計額	△777,818	△838,644
その他 (純額)	210,413	161,323
有形固定資産合計	14,898,205	14,495,995
無形固定資産	4,234	52,173
投資その他の資産		
投資有価証券	420,026	80,013
繰延税金資産	8,532	13,104
その他	63,152	65,813
貸倒引当金	△21,984	△21,992
投資その他の資産合計	469,727	136,939
固定資産合計	15,372,168	14,685,107
資産合計	16,954,399	16,539,701

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	194,790	131,036
短期借入金	905,000	805,000
1年内返済予定の長期借入金	1,167,264	1,240,538
未払法人税等	15,828	42,440
未払消費税等	191,107	239,520
契約負債	78,194	93,031
賞与引当金	152,187	115,130
資産撤去引当金	286,885	105,375
その他	770,761	617,439
流動負債合計	3,762,020	3,389,514
固定負債		
長期借入金	3,427,936	3,278,652
繰延税金負債	91,724	6,346
再評価に係る繰延税金負債	3,099,461	3,099,461
退職給付に係る負債	1,318,508	1,271,085
特別修繕引当金	56,700	75,600
長期預り金	86,133	104,437
その他	81,608	160,710
固定負債合計	8,162,073	7,996,292
負債合計	11,924,093	11,385,807
純資産の部		
株主資本		
資本金	750,000	750,000
資本剰余金	19,032	19,032
利益剰余金	△2,987,480	△2,653,919
自己株式	△31,880	△31,880
株主資本合計	△2,250,328	△1,916,766
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	242,236	28,549
土地再評価差額金	7,044,060	7,044,060
退職給付に係る調整累計額	△16,805	△13,093
その他の包括利益累計額合計	7,269,491	7,059,516
非支配株主持分	11,141	11,145
純資産合計	5,030,305	5,153,894
負債純資産合計	16,954,399	16,539,701

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業収益	3,574,857	3,808,729
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	2,755,596	2,634,305
販売費及び一般管理費	1,014,008	1,034,018
営業費合計	3,769,604	3,668,323
営業利益又は営業損失(△)	△194,746	140,405
営業外収益		
受取利息	6	4
受取配当金	28,098	20,069
土地物件貸付料	13,472	13,198
助成金収入	38,613	3,702
その他	3,745	2,751
営業外収益合計	83,937	39,727
営業外費用		
支払利息	23,108	25,130
減価償却費	10,110	6,740
その他	904	1,269
営業外費用合計	34,123	33,139
経常利益又は経常損失(△)	△144,932	146,992
特別利益		
投資有価証券売却益	—	501,564
事業譲渡益	—	70,000
固定資産売却益	—	2,031
補助金受入額	9,914	122,949
特別利益合計	9,914	696,545
特別損失		
固定資産圧縮損	9,764	121,101
減損損失	—	343,372
特別損失合計	9,764	464,474
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△144,782	379,064
法人税、住民税及び事業税	12,893	40,505
法人税等調整額	161,259	4,724
法人税等合計	174,153	45,230
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△318,935	333,833
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△21	272
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△318,914	333,561

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△318,935	333,833
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,276	△213,665
退職給付に係る調整額	2,135	3,711
その他の包括利益合計	9,411	△209,953
四半期包括利益	△309,523	123,880
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△309,504	123,585
非支配株主に係る四半期包括利益	△19	294

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

当第3四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であった秩父観光興業株式会社は、2023年10月1日付で、連結子会社である秩父鉄道観光バス株式会社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鉄道事業	不動産 事業	観光事業	卸売・ 小売業	計				
営業収益									
外部顧客への 営業収益	2,356,809	253,984	315,332	394,920	3,321,047	253,810	3,574,857	—	3,574,857
セグメント 間の内部営業 収益又は 振替高	10,772	11,288	624	26,353	49,039	199,104	248,143	△248,143	—
計	2,367,581	265,273	315,957	421,274	3,370,086	452,915	3,823,001	△248,143	3,574,857
セグメント 利益又は損失 (△)	△233,958	120,730	△13,787	19,650	△107,365	△92,619	△199,984	5,237	△194,746

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バス事業、建設・電気工事業及び旅行業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額5,237千円には、固定資産未実現損益の消去額2,988千円、セグメント間取引消去2,249千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2023年4月1日至2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鉄道事業	不動産 事業	観光事業	卸売・ 小売業	計				
営業収益									
外部顧客への 営業収益	2,510,996	272,670	325,419	440,103	3,549,190	259,538	3,808,729	—	3,808,729
セグメント 間の内部営 業収益又は 振替高	7,504	11,275	3,299	26,882	48,962	231,013	279,975	△279,975	—
計	2,518,501	283,946	328,719	466,985	3,598,152	490,551	4,088,704	△279,975	3,808,729
セグメント 利益又は損 失(△)	15,101	148,452	6,093	21,002	190,650	△54,529	136,120	4,284	140,405

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バス事業、建設・電気
工事業及び旅行業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額4,284千円には、固定資産未実現損益の消去額2,978千
円、セグメント間取引消去1,305千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、事業の重要性を考慮し報告セグメント区分を変更しております。

これに伴い、従来「鉄道事業」、「不動産事業」、「観光事業」、「バス事業」、「その他」としていたセ
グメント区分を「鉄道事業」、「不動産事業」、「観光事業」、「卸売・小売業」、「その他」に変更して
おります。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区
分に基づき作成しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「鉄道事業」セグメントにおいて、34,552千円の減損損失を計上しております。

「不動産事業」セグメントにおいて、308,819千円の減損損失を計上しております。

3. その他

(重要事象等について)

当社グループは、前連結会計年度まで継続して営業損失を計上してきており、監査・保証実務委員会報告第74号「継続企業の前提に関する開示について」に照らすと、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況が存在しているとみなされます。このような事象または状況を解消するために、以下の課題に取り組んでまいります。

- ・多面的な検証による適正な運賃・料金についての検討
- ・「花園IC拠点整備プロジェクト」による交流人口増加の効果を最大限に享受、また、沿線の各観光施設への周遊の機会増加を図るためグループ一体となった各種イベント、諸施策の実施
- ・グループ全体の観光事業の再構築
- ・安定的で収益力の高い不動産事業への転換
- ・資金残高を踏まえた資産の有効活用と金融機関との関係の強化

これらの施策により、翌1年間の資金繰りは安定すると考えられることから、現時点において今後の事業継続に関して重要な不確実性は認められないものと判断しております。

4. 補足情報

(参考) 鉄道事業旅客人員と旅客収入及び貨物トン数と貨物収入

			当第3四半期 連結累計期間	前第3四半期 連結累計期間	増減率 (%)
旅客人員	定期	千人	3,404	3,322	2.5
	定期外	〃	2,152	1,938	11.0
	計	〃	5,557	5,261	5.6
貨物トン数		千トン	1,346	1,324	1.7
旅客収入	定期	百万円	492	473	3.9
	定期外	〃	848	762	11.2
	計	〃	1,341	1,236	8.4
貨物収入		〃	978	940	4.0